

令和5年5月18日

5月の木材価格・需給動向

1. 国産材(北関東)

栃木県では原木生産、入荷とも順調だが、一部地域で入荷が少ない。虫害発生時期が早まり間伐材の入荷が増えている。工場の材の引取りが全般的に悪くなっている。スギ材は3m小径材、柱材ともに弱保合、4m中目材は大きく値下がり。ヒノキ材も3、4mとも値を下げており、特に4m中目材の値下がりが大きい。

群馬県でも原木入荷は順調で価格は下降傾向。スギ3m柱材、中目材はだぶついている。全体的に売れ行きが悪く、在庫が日々増加している。県内では建築、輸送関係の倒産や廃業が増えており、雰囲気は最悪である。価格を下げても売れないので無理に下げているが、投げ売りも散見され、相場は混乱している。

2. 米材

米国内の製材品価格は1月後半に\$400/M台に回復後、\$400台前半で安定推移している。DF製材品は春になり最大市場であるカリフォルニアの天候が回復し、製材品需要が増加したため価格が急伸している(2月下旬\$265/M→4月最終週\$405)。DF製材品の需要回復で原木需要が増加し、産地原木価格も底を打ち上昇し始めた。米マツIS級並の5月積み対日輸出価格は前月据え置き of \$940/千SCRで決着した模様。一方、カナダBC州内の原木需要は国内・輸向向けとも弱い。DF原木在庫は潤沢であるが、白物(Hem/Bal系)は出材が少なく在庫は低水準。SPF各工場は減産を継続中で、工場の減産と需要の少なさで供給バランスが保たれている模様。ランダムレングス紙発表の15種平均価格(5/10)は\$414/Mで4月頭と変わらず。

3月原木入荷は169千 m^3 と回復、カナダから入荷も45千 m^3 と回復。出荷は173千 m^3 となり、前月より増加。在庫は微増し151千 m^3 となり、在庫率は0.93ヵ月と1ヵ月を下回った状態が続いている。国内の製材品需要は依然回復せず、国内製材メーカーの苦境が続く。東京木材埠頭の4月製品入荷は13千 m^3 (前月比41.7%増)、出荷は12千 m^3 (同7.8%減)、在庫は27千 m^3 (同1.3%増)。全体的に受注量が少ない。国内では4~5月が底値とする見方が強いが、商売には慎重になっている。

3. 南洋材

サラワク州では乾期に移行し天候は良好だが、日本からの製品需要は弱く、現地の合板・製材工場は減産を継続している。原木価格は弱く、サプライヤーは採算割れの状態が続く。好天による出材増で FOB 価格は\$10/m³程度の下落となり、インドが買い進めている。PNG、ソロモンでは4月に入り、乾期に移行。4月のPNGの出材は20万m³程度で、そのうち70%は中国向けである。サバ州でも乾期に移行したが、原木市況が悪く伐採は低調。台湾がサラワクの補完としてサバに興味を抱いている。5月予想の原木入荷0千m³、出荷3千m³、在庫5千m³。製材品入荷は25千m³。フリー板市場は依然悪いが、安値での在庫処分の動きは見られない。

4. 北洋材

シベリア産地では4月は雨/雪の天候が多く、道路がぬかるみ伐採量は減少。これから夏山伐採に切り替わるので良質原木はさらに減少する見込み。日本需要が冴えないため各シッパーの対日生産量は減少。3月は空コンテナ不足で殆ど出荷できず、4月に出荷している。中国市場は堅調だが、価格を押し上げる勢いはない。アカマツ原板は日本側からの値下げ要望が強いが、産地側は価格維持を主張して綱の引っ張り合い状況。アカマツ完成品も同様。国内の現地挽きアカマツ野縁製品は3月に決算処分品等の投げ売りがあり、一時的に市況は混乱したが、4月に入り落ち着き低位安定。5、6月の入荷動向が注目される。国内の北洋材製材各社は高コストの原板在庫があり、厳しい状況が続く。3月の製品入荷(東京+川崎)は19千m³と増加、4月は減少の見込み。出荷は15千m³でやや増加。在庫は55千m³で3月の纏まった入荷で増加。

5. 合板

合板メーカーは5月も減産を継続し、原木の受入制限が続く。3月の原木入荷量は本格的減産を始めた昨年10月以降で最低の水準になった。メーカーは素材生産業者に値下げ要求をしていないが、原木価格は弱い。

3月の国内合板生産量は19.5万m³、うち針葉樹合板は19.2万m³、出荷量は19.3万m³で在庫量は16.9万m³、うち構造用合板の在庫は14.7万m³と前月より減少したが、高水準が続いている。針葉樹合板は3月期決算期末の在庫整理が一巡し、流通筋は仕入を再開する時期だが、先安観が消えず当用買いが続く、価格も弱含んでいる。輸入合板については3月までの構造用合板の投げ売りも止まり、相場が落ち着き始めている。マレーシアからの対日向け数量が2ヵ月連続の低水準になり、多少の買付があった模様。型枠合板は乱売が聞こえず様子見の状態が続いている。3月の合板輸入量は前月比1.1万m³

増の 15.7 万 m³となった。マレーシア以外の主要国からの輸入量は増加しているが、中国からの輸入量はピーク時より大幅に減少し、針葉樹合板は 6,370 m³ (12mm 換算 31.9 万枚)。産地の原木業者は合板工場からの買いが止まっているため、新規伐採を停止しており、原木流通量はかなり減少している。このような状況のため、今後、伐採業者・合板工場では事業停止や工場閉鎖が出てくる可能性もある。

6. 構造用集成材

ラミナは昨年第 4・四半期契約分が順調に入港。各社契約量は通常の 6 割程度に落としており入荷量は少ない。入港量が増えるのは 6 月の見通し。今年第 1・四半期契約は€280/m³程度、第 2・四半期契約は€20 アップの見通し。第 3・四半期契約はおよそ€300 あたりと予想される。ラミナ入港価格は 4 月 48,000 円/m³、5 月 44,000 円/m³程度である。ラミナ入港価格は底が見え始めている。4~6 月の輸入集成材の入港量は例年の 6~7 割と見られる。国内集成材メーカーの製品在庫は適正水準に向かいつつある。

7. 木材チップ(東海)

チップ原木は製紙・バイオマス用とも引き合いは強いが、慢性的な不足感が強い。解体材は発生、入荷ともに良くない。大手製紙・ボード会社は 4 月より購入価格の値上げを実施。製紙用は GW から夏場にかけて大手製紙会社の大型定期修理が連続し、消費量は一時的に減少の見込み。同様に燃料用も消費は一時的に減少。在庫は消費に一服感が出るので若干の積み増しは可能だが、長期的には不足感が否めない。

8. 市売問屋

近県の製品市場の市況はどこも良くない。都内では国産材、外材ともに構造材の荷動きが悪く、造作材も材木店の仕事量が少なく、細かいもので荷動きは悪い。アカマツ 30×40×3m は不足気味と言われているが、間に合っている。市況が悪くなっている模様である。

9. 小売

首都圏では木材製品の荷動きは不振で、決算絡みの処分値の発生もあり、全般的に市況は弱含み。ただ外材の先物契約の情勢から、今後は不足品が出てくるので在庫減少により市況は底入れすると見られる。国産材製品では柱と土台の荷動きが鈍い。外材構造材の在庫は昨年末に比べ減少しているものの、荷動きの鈍さから見ると依然適正在庫を上回っている。WW 集成管柱は、在庫過多が囁かれる国産スギ集成管柱の影響も加わり値下がり。RW 集成平角も弱含み。国産材では柱や間柱を枳材に再加工し販売する動きが出ている。

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	→	→	→
	製材品	→	→	→
北洋材	丸太	輸出禁止	*	*
	製材品	↘	→	↘
南洋材	丸太	↘	↘	→
	製材品	→		

注)北洋製材品は東京・川崎

矢印の表示は今月に対する翌月の動向を、下記のように示したものである。

- ↑ 急増・急上昇
- ↗ 増加・上昇
- 横ばい
- ↘ 減少・低下
- ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸入量		
	計	インドネシア	マレーシア
↘	→	↗	↘

3. 価格動向

樹材種	形状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材 (3m) 2等	↘
			スギ中丸太 (3.65m) 2等	↘
			ヒノキ柱材 (3m) 2等	↘
			ヒノキ中丸太 (4m) 2等	↘
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角 (KD) 10.5×10.5×3m 特等	→
			スギ柱角 (KD) 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ間柱 (KD) 10.5×3.0×3m 特等	→
			スギ加工板 1.3×18.0×3.65m 特等	→
			スギタルキ 3.0×4.0×3.65m	→
			ヒノキ柱角 (KD) 10.5×10.5×3m 特等	→
ヒノキ柱角 (KD) 12.0×12.0×3m 特等	↘			
ヒノキ土台角 12.0×12.0×4m 特等	→			
米材	丸太	産地価格	米マツ ISタイプ	→
		国内卸売価格 (京浜・オントラ)	米マツ ISタイプ コースト	↘
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き) (国内挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米ツガ桁角 (KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	↘
			SPF 2×4 J-Grade R/L	→
			米ヒバ土台角 (GR) Std&Btr 4・13/16” 13’	→
米マツ平角 (KD) 特等 10.5×24.0×4m	→			
南洋材	丸太	産地価格	メランティレギュラー	→
		東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用 メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用	→
	製材品	産地価格	ホワイトセラヤ 平割 (サバ州産)	↗
		東京・問屋店頭 渡し価格	同上2.4cm×込み×4m 定尺1等	↗
北洋材	製材品	国内卸売価格 (京浜・オントラ)	アカマツ (KD) 30×40上級 アカマツ (KD) 16×40上級	→
		東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 間柱 3.0×10.5×3m S4S FOHC ホワイトウッド ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺	↘
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ スギ 無化粧 JAS 5プライ	↘
		//	10.5×10.5×2.98m	↘
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6 タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6 型枠 12.0mm厚 3×6	↘
	欧州産	//	針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	↘
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6 タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6 型枠 12.0mm厚 3×6	↘
		//	針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	↘